



バスケ「北川会」が開催されました

令和6年8月20日
県立高田商業高校同窓会

8月10日(土)、高田ターミナルホテルにて、北川先生を囲んで恒例の高商男子バスケット部OB「北川会」が開催されました。

今春3月、OBでターミナルホテルオーナーでもある田中正人さんが逝去され、北川会にはなくてはならない存在の大事な仲間を失いました。本年の北川会開催について、幹事会では開催を見送ることも考えましたが、むしろそれは故人の意に反することで、きっと「お前たち何を考えてんだ」と怒られそうだと考え直し、例年通り開催の運びとなりました。奥様に遺影をお借りして献花と共に故人の席を設け、2時間余りのいつもの通りの愉快的宴席を見守っていただきました。

「北川会」は、男子バスケット部顧問の北川先生が退職された平成11(1999)年に、第一回目の退職記念祝賀会を機に発足しました。会員は北川先生が高田商業高校男子バスケット部の顧問を担当された昭和46(1971)年卒から平成元(1994)年卒までの教え子、男女総勢103名(含物故者)で構成されています。

当初は幹事会なるものではなく、幹事持ち回りで2～4年おきに開催しておりましたが、秋山徹(幹事長)、高橋公一、風間優子の3氏で、平成20(2008)年に幹事会を設立し、以降毎年開催して北川先生を囲んで、会員相互の旧交を温め親睦を深めてきました。高田商業高校卒業後の進路は皆それぞれですが、会えば昔のままの先輩・後輩、俺・お前の関係は不変のままです。連日厳しい練習に打ち込み、共に汗して喜びも悲しみも分かち合った学生時代の仲間は何物にも代え難い心の財産です。

北川先生は今年85歳、現役時代と変わらぬお元気さで、メンバーが逆にパワーを貰っています。会が始まって一通り喉が潤ったところで、メンバー一人ずつ順番に近況報告と思い出話のスピーチを行います。い





つもこの時間が最も盛り上がり、佳境となります。先生もこの近況報告を毎年楽しみにしておられます。

宴会中、田中さんの奥様からサプライズで日本酒(久保田の洗心)の差し入れをいただき、全員で献杯をして美味しくいただきました。

今年の参加者は12名で、例年に比べると少なめですが(過去最高21名参加)、今後とも女子も含めて一人でも多くの会員に参加いただくよう広報活動を強化していきたいとのことでした。

この度、同窓会のホームページ(以下 HP)が大幅にリニューアルされました。今回の様子もHPで紹介されるとのこと、参加者にその旨お知らせしました。また、同窓会事務局の要請によりメンバーから寄付金をいただきました。参加者の皆さん、ご協力有難うございました。～幹事より聞き書き編集(編集部)～

